

と 介 銑 沢 芹

、
新
し
い
日
々



New Days with

Serizawa Keisuke

はじめに

芹沢銈介(1895-1984)は伝統的な型染の技法を用いながら、ものの本質を明快に表した模様で独自の表現を切り開き、国内外で高い評価を受ける染色家です。終戦後まもなく制作をはじめた和紙による型染カレンダーは、戦後の人々の暮らしを晴れやかに彩り、芹沢の意匠が一般にも広く知られるようになりました。柚木沙弥郎らの作家もこれに触発されて染色をはじめたほか、芹沢自身も量産のため「芹沢染紙研究所」を開設し、一緒に仕事をする若い仲間との出会いに気持ちを新たにしています。国立工芸館は、金子量重氏のご寄贈(2016年)による400点超の作品・資料[金子量重コレクション]など、充実した芹沢のコレクションを有しています。今回は和紙作品をはじめ、重要無形文化財「型絵染」保持者の認定を受けた後の着物やのれんなどの名品を中心に、芹沢とともに活動した染色団体「萌木会」の作家の作品も交え、東京国立近代美術館所蔵作品展「MOMATコレクション」の特集展示として、ご紹介します。どうぞお楽しみください。

Serizawa Keisuke (1895-1984) was a dyeing artist, revered both in Japan and overseas, known for his extraordinary use of traditional *katazome* (stencil dyeing) techniques to vividly capture the essences of objects. Soon after the end of World War II, Serizawa began producing *katazome* calendars on washi paper, which brought brightness to the postwar lives of the Japanese people and earned his designs widespread recognition. This work inspired other artists such as Yunoki Samiro to take up dyeing, and Serizawa himself established the Serizawa Keisuke Paper-Dyeing Workshop to mass-produce his works, refreshing his spirit through interactions with younger colleagues who worked there. The National Crafts Museum boasts an abundant collection of Serizawa's works, notably including the Kaneko Kazushige Collection of over 400 works and related materials generously donated by Mr. Kaneko Kazushige in 2016. This exhibit features not only Serizawa's works on washi paper, but also the masterworks he created after being designated as a preserver of an Important Intangible Cultural Property (Living National Treasure) for the *katazome* ("stenciled picture dyeing") technique, such as kimono and *noren* (doorway curtains), as well as works by artists in the dyeing group Moegikai who worked alongside Serizawa. Please enjoy this special MOMAT Collection exhibit, which showcases works from the collection of the National Crafts Museum alongside those from the National Museum of Modern Art, Tokyo.

芹沢銈介と型染

1895年静岡市で呉服商を営む家に生まれた芹沢銈介は、東京高等工業学校の工業図案科を卒業後、今でいうデザイナーのような仕事をしていました。30歳になる頃に染色を始め、柳宗悦の論文や沖縄の紅型に導かれて型染の制作に取り組むようになります。国画会展に屏風や壁掛けなどの作品を発表する一方、書籍の装丁や、型染本など表現の場を広げました。

そもそも型染というのは、次のような手順で行われます。図案を彫り抜いた柿渋紙を使って生地に防染糊を置き、染め出す「図」と余白として残す「地」の部分に分けます。その後、ぼかしを加えながら色を差すことで、色面に奥ゆきを出します。これは紅型にも通じる表現ですが、芹沢は伝統的な技法を基礎としながらも、枠にとらわれない表現を確立しました。重要無形文化財保持者(いわゆる人間国宝)の認定を受ける際、「型絵染」という新しい呼称が生まれたことについて、のちに次のように語っています。

「その下絵を簡単に薄紙に書いて、型の紙に貼って、これを彫ってゆきますが、私の場合は、この下絵どおりに彫るのではなくて、彫りながら、さらに、いろいろにかえてゆきますから、私の仕事は、最初から染め上がりがどんなになってゆくか、わからないのです。」

「世間で私のを〈型絵染〉といわれているのは、つまり、絵を描くような心持で、型を使う、創作的な型染ということだと思います。」*

*芹沢銈介「型絵染」

(『暮らしの手帖』第2世紀17号1972年4月より)



《新の字》1970年代頃

*掲載する作品の作者はすべて芹沢銈介、所蔵は国立工芸館、
[金子量重コレクション]です。



《1962年のカレンダー(8月)》1961年

型染カレンダーの誕生

型染は主に着物など布を対象として使われる技法ですが、芹沢と一緒に沖繩の紅型工房を視察した柳宗悦の助言から、和紙に染色を試みるようになりました。それがのちのカレンダー制作にもつながる転機となり「和紙に染色可能な事を知ってから、芹沢の意匠は広い場に出て若い同行を得て大道を行き爽やかな外気にふれるに到った」*と振り返っています。

型染カレンダーというアイデアは、民藝運動のよき理解者であった式場隆三郎と民藝店「たくみ」の山本正三からもたらされました。1945年に空襲で工房を失った芹沢が、日本民藝館に寄寓していたころのことです。もともとは進駐軍とその家族向けのクリスマスギフトとして企画され、型染を原案に印刷版をつくる予定でしたが、制作が間に合わず急遽手染めした和紙のまま世に出すことになったのが、かえって好評で翌年以降も定着したというのは、制作に妥協しない芹沢らしいエピソードです。

カレンダー制作はその後、最晩年まで40年近く続き生涯で500もの型がつくられました。初期のころは数字の表と模様を分けてレイアウトしていますが、次第にその前提は取り払われ自由な構図が試みられるようになります。模様のテーマは季節の植物だけでなく、玩具や器、物語など、芹沢のほかの作品との関連も深く、並べると作家の記憶をたどるアルバムのようなものです。いくつか具体的に作品を取り上げてみましょう。

* 芹沢銈介「芹沢の仕事」
(『芹沢銈介展』サントリー美術館、1977年)



《1948年のカレンダー(4月、5月、6月)》1947年

《1978年のカレンダー(6月)》
1977年

生茂る葉は《紬地型絵染二曲屏風 晴雨》(1962年、国立工芸館蔵)でも雨に親しむ植物として描かれる糸芭蕉。沖縄や奄美地方で織られる芭蕉布はこの植物の繊維からつくられ、涼やかな着物になります。風土とともにある沖縄の染織は芹沢が追い求めた理想のひとつでした。



《1963年のカレンダー(12月)》
1962年

蓑など藁でできた衣服をまとった人たちの姿。柳宗悦とともに東北地方の調査に赴いた芹沢は、そこで出会った民具の美しさを多くの模様に移華させ、藁製品は《ぼんどり》(1957年、国立工芸館蔵)など屏風の大作にも表されています。



《1965年のカレンダー(12月)》
1964年

1947年から5年近く青山に寄寓した芹沢は、近くに暮らす進駐軍の家族と交流を持ち、夫人らに染色の手ほどきをしたほか、グリーティングカードの制作なども行っていました。火の灯る蠟燭のイメージは芹沢のクリスマスカードにもよく描かれました。



《1968年のカレンダー(3月)》
1967年

文字を模様としてデザインした「文字文」は海外でも人気の高い表現です。色とりどりの布が、軽やかにひるがえる様子は芹沢が編み出した書体「布文字」を連想させます。衣桁に掛けられた布にも「花」など漢字をモチーフとした模様が見られます。



《1972年のカレンダー(1月)》
1971年

毎年1月は吉祥のモチーフが多く描かれ、この年はぎゅうぎゅうにひしめくダルマがユーモラスにおめでたい雰囲気を伝えています。正面だけでなく横や後ろを向いているもの、よく見ると招き猫の姿も見えます。



《1970年のカレンダー(9月)》
1969年

蒐集家としても知られる芹沢の模様には各地の玩具もよく登場します。なかでも愛らしい張子人形の姿は『張子いろいろ』(1972年、吾八刊)という一冊にもまとめて紹介されています。跳ね上がる袖の形が、踊りの軽やかさを伝えるのは福島の子「三春人形」です。



《1974年のカレンダー(5月)》
1973年

動物たちを従え歩く金太郎。
この年は通年で童話がモチーフ
になっています。芹沢はイソ
ップ童話や古事記をテーマと
した屏風のほか『どんきほう
て』などの型染本、書籍の装
丁、戦後は新聞小説の挿絵な
ど、物語の世界を表す作品を
多く手掛けています。



《1971年のカレンダー(9月)》
1970年

壺や皿など焼物のうつわを
描いた年もあります。芹沢は
沖縄や栃木の益子など焼物
の工房を訪ね、そこで働く人
たちの姿を模様に表したほ
か、自身も自宅の窯で上絵
付けに取り組んだ時期があ
り、図案集なども発表してい
ます。



新 し い 日 々

カレンダーには、実用性だけでなく生活のなかで手軽に飾ることのできる「絵」としての側面もあります。日本でも、商店の広告を兼ねた暦は戦前から多く発行されていましたが、今日のように多種多様なデザインのものが市販されるようになったのは1950年代以降のことです。戦時中は日めくりに国策標語を入れた「決戦暦」が、かろうじて実用品として認められた程度でした。庶民生活の1日1日が戦争に支配され、多くのものを失いながら迎えた終戦。そんな状況でも何か美しいものをつくりたいという芹沢の思念が形になったのが型染カレンダーでした。

芹沢にとって型染カレンダーは戦後の生活を支える収入源にもなり、多い年には1万部ほど制作され、量産のため1955年に「芹沢染紙研究所」が設立されました。1952年には女性を中心とした染色教室「このはな会」も発足し、工房には若い世代を含むコミュニティが形成されました。のちに芹沢の代表作といわれる着物や屏風などの大作はほとんど、この後に構えた鎌倉の工房などで制作されたものですが、そこに至るまでの不自由ながらも賑やかな10年間は芹沢の世界を大きく広げる礎となっています。

また芹沢は戦後、カーテンや洋服など、変化する生活様式を意識した布地づくりにも意欲を見せ、1946年芹沢を中心に結成された染色団体「萌木会」のメンバーとともにそれを実践しています。型染本『花よりも』（1966年、吾八刊）のなかでも、出来上がった布を掲げる女性の姿に「わんぴーすにいかが」という言葉が添えられたページがあります。



《1967年のカレンダー（10月）》1966年

思 や っ た て ら み た い と

芹沢の作品は見るものを緊張させない、親しみやすさに溢れています。形態や色から受ける平明な印象、作品数の多さから、これらがいとも簡単に次々生み出されたかのような誤解を生じることがありますが、そうではありません。幼少期から特異な画力を発揮した芹沢は、作家になってからも日常にスケッチを欠かさず、的確に素早くものを捉えることにおいては写真を撮るよりはやいと、同人たちを驚かせました。芹沢の模様は、長い時間をかけて培われた「ものを見る目」によって生み出されているのです。

その創作力に圧倒される私たちに、芹沢と親交のあった染織家・柳悦孝はこう語りかけます。「もしこれらの作品を見て、感心して、こういう仕事をやってみたいと思ったら、先生がご覧になったものものをもういっぺん見直して、それを写生するところから始める、そうすれば人の顔が一人一人違うように、描くものだって違ってくるはずですからね。」* 柳悦孝「思いつくままに」(『芹沢銈介全集』第14巻 1981年、中央公論社)



《運搬の壺運び》1965年

ものの見方が一人一人違うように、作家の性格も創作に影響を与えます。文献などで「寂しがり屋」と紹介されることの多い芹沢は、人との出会いのなかで表現の道を見出した作家で、自分の生き方についてこう表現しています。「ぼくはそういうことが多い。なんでもむこうから話が来て、それでそれにのっかってうまくいきますね、仕事でもなんでも。すごく親切で分かった方がいて引きずって行ってくれて。



《メキシコみやげ》1968年頃

民芸も図案もそうなんですね。」*これは、過剰な謙遜を含んだ言葉ですが、たしかに芹沢には他者からもたらされるアイデアの種を、より良い形で開花させる力もありました。カレンダーや新聞小説の挿画などは好例で、そのほかグラフィックや空間デザインにも表現力を発揮しています。ひとつの専門分野を深めるだけでなく、その周辺にあるものと関係を結びながら領域を広げることに長けていたのです。

その足跡は作家個人の多才さだけでなく、型染をはじめとする伝統的な工芸が変化する時代に即して、新しいフィールドを開拓できることを示しています。もし今も芹沢が活躍していたら、現代の暮らしと模様にどんな関係性を提示したのか。その想像は、歴史と向き合いながら新しい日々を生きる私たちの思考を柔軟にしてくれます。

* 芹沢銈介「静岡時代あれこれ」(『芹沢銈介全集』第1巻 月報1 1980年、中央公論社)

作品リスト List of Works

◎は東京国立近代美術館蔵、そのほかの作品はすべて国立工芸館蔵です。
金子量重氏寄贈による作品は「金子量重コレクション」です。

作家名 Artist	題名 Title	制作年	技法 Technique, branch, form	寸法	受入方法 Acceptance method
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1962年のカレンダー 1962 Calendar	1961	紙、型染 paper, stencil dyeing	37.3×28.8	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1963年のカレンダー 1963 Calendar	1962	紙、型染 paper, stencil dyeing	37.2×28.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1965年のカレンダー 1965 Calendar	1964	紙、型染 paper, stencil dyeing	36.3×27.7	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1967年のカレンダー 1967 Calendar	1966	紙、型染 paper, stencil dyeing	37.0×27.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1968年のカレンダー 1968 Calendar	1967	紙、型染 paper, stencil dyeing	38.3×29.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1970年のカレンダー 1970 Calendar	1969	紙、型染 paper, stencil dyeing	38.9×29.7	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1971年のカレンダー 1971 Calendar	1970	紙、型染 paper, stencil dyeing	38.8×29.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1972年のカレンダー 1972 Calendar	1971	紙、型染 paper, stencil dyeing	38.7×29.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1974年のカレンダー 1974 Calendar	1973	紙、型染 paper, stencil dyeing	38.7×29.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1978年のカレンダー 1978 Calendar	1977	紙、型染 paper, stencil dyeing	38.3×29.6	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	1948年のカレンダー(4月、5月、6月) 1948 Calendar (April, May, June)	1947	紙、型染 paper, stencil dyeing	44.5×33.3	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	和の字 Kanji character <i>wa</i> (harmony)	不詳 unknown	紙、型染 paper, stencil dyeing	14.0×12.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	水の字 Kanji character <i>mitsu</i> (water)	不詳 unknown	紙、型染 paper, stencil dyeing	14.0×9.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	沖縄老女 Elderly Okinawan Woman	1974	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	31.0×23.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	壺屋次郎旧居 Old House of Tsuboya Jiro	不詳 unknown	紙、筆彩 paper, color	20.0×32.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	沖縄うたき <i>Utaki</i> Sacred Space in Okinawa	不詳 unknown	紙、筆彩 paper, color	22.0×34.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	紙漉 Papermaking	1965	紙、型染、筆彩 paper, stencil dyeing, color	9.0×9.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	窯場の壺運び Carrying Jars at a Kiln	1965	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	27.2×34.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	椅子とかまきり Chair with Praying Mantis	不詳 unknown	紙、筆彩 paper, color	33.0×23.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	ガラスコップ Glass Goblets	不詳 unknown	紙、筆彩 paper, color	28.0×26.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	日田の大壺 Large Hita-ware jar	不詳 unknown	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	27.5×38.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	スペインの壺 Jar from Spain	不詳 unknown	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	27.5×37.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	華角張筆筒 Brush Holder with Horn Inlay	不詳 unknown	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	26.0×26.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	ばんどり Backpad	不詳 unknown	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	26.7×18.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige

芹沢銈介 Serizawa Keisuke	煙硝入れ Tobacco Caddies	1970	紙、墨、筆彩 paper, sumi, color	27.3 × 38.2	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	メキシコみやげ Souvenirs from Mexico	c.1968	紙、墨、鉛筆、筆彩 paper, pencil, sumi, color	35.0 × 28.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	芹沢銈介装幀集(一〜五) Collection of Serizawa Keisuke's book designs (1-5)	1968-70	紙、布、型染 paper, cloth, stencil dyeing	28.2 × 29.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	芹沢銈介装幀集(六〜十) Collection of Serizawa Keisuke's book designs (6-10)	1968-70	紙、裂、型染 paper, cloth, stencil dyeing	28.2 × 29.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	『工藝』1、4号 Kogei (Crafts) journal, issues 1,4	1931	綿、型染、他 cotton, stencil dyeing, etc.	23.0 × 15.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	式場隆三郎『微笑亭夜話』 Fan Tales from the Bishotei, by Shikiba Ryuzaburo	1940	紙、印刷 paper, printed matter	23.5 × 16.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	式場隆三郎『ロートレック 生涯と芸術』 Lautrec, Life and Art, by Shikiba Ryuzaburo	1942	紙、印刷 paper, printed matter	26.9 × 19.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	山本周五郎『さぶ』 Sabu, by Yamamoto Shugoro	1968	紙、印刷 paper, printed matter	17.2 × 11.2	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	武田泰淳『中国小説集』第一巻 Collected Chinese Short Stories, by Takeda Taijun	1974	紙、印刷 paper, printed matter	20.2 × 14.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	武田泰淳『中国小説集』第二巻 Collected Chinese Short Stories, by Takeda Taijun	1974	紙、印刷 paper, printed matter	20.2 × 14.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	武田泰淳『中国小説集』第三巻 Collected Chinese Short Stories, by Takeda Taijun	1974	紙、印刷 paper, printed matter	20.2 × 14.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	武田泰淳『中国小説集』第四巻 Collected Chinese Short Stories, by Takeda Taijun	1974	紙、印刷 paper, printed matter	20.2 × 14.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	武田泰淳『中国小説集』第五巻 Collected Chinese Short Stories, by Takeda Taijun	1974	紙、印刷 paper, printed matter	20.2 × 14.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	小間絵集 一 Miniatures, 1	1964	紙、型染 paper, stencil dyeing	29.0 × 23.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	小間絵集 二 Miniatures, 2	1966	紙、型染 paper, stencil dyeing	29.0 × 23.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	かたそめ装幀図案集 一 表紙十二ヶ月 Collection of Serizawa Keisuke's stencil-dyed book designs: Twelve months of covers	1971	紙、型染 paper, stencil dyeing	27.6 × 22.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	装幀図案集 二 Collection of Serizawa Keisuke's book designs, 2	1971	紙、凸版印刷、筆彩(一部) paper, reliefprint, color	27.5 × 22.8	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	装幀図案集 三 Collection of Serizawa Keisuke's book designs, 3	1971	紙、凸版印刷、筆彩(一部) paper, reliefprint, color	27.5 × 22.8	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	花よりも／やく・すく・おる More than Flowers: Firing, Screening, Weaving	1966	紙、型染 paper, stencil dyeing	11.6 × 23.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	のれん集 Collection of Noren Curtains	1965	紙、型染 paper, stencil dyeing	17.6 × 23.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	小型絵 三、四、五 Small Images, 3,4,5	1979	紙、型染 paper, stencil dyeing	19.6 × 15.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	鏡に描いた自画像 Self-portrait Painted on a Mirror	1971	鏡、筆彩 mirror, color	17.5 × 11.3	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	板干し Drying on a Board	1975	ガラス、筆彩 glass, color	9.8 × 7.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	型染うちわ絵帖 Album of stencil-dyed fan designs (1,2)	1971	紙、型染 paper, stencil dyeing	35.0 × 37.8	購入 / 金子量重氏寄贈 Purchased / Gift of Kaneko Kazushige

芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	木綿地型絵染文字文のれん 天 <i>Noren</i> (doorway curtain), with design of the character "Ten (heaven)", stencil dyeing on cotton	1965	綿、型染 cotton, stencil dyeing	142.0 × 90.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	木綿地型絵染のれん 一本松 <i>Noren</i> (doorway curtain), "Lonely Pine Tree", stencil dyeing on cotton	1966	綿、型染 cotton, stencil dyeing	123.0 × 81.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	天の字 Kanji character <i>ten</i> (heaven)	1963	絹、型染 silk, stencil dyeing	78.2 × 42.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	真 <i>Shin</i> (Truth)	1960	絹、型染 silk, stencil dyeing	94.5 × 49.3	文化庁管理換 Transferred from ACA
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	新の字 Kanji character <i>shin</i> (new)	1970s	紙、型染 paper, stencil dyeing	59.3 × 46.2	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	この山みちをいきしひとりあり Another trod this mountain path before	不祥 unknown	紙、墨、筆彩 paper, <i>sumi</i> , color	27.2 × 24.2	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	木綿地型絵染文字文のれん この山みち <i>Noren</i> (doorway curtain), "This Mountain Lane", stencil dyeing on cotton	1959	綿、型染 cotton, stencil dyeing	181.0 × 74.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	木綿地型絵染のれん 寿 <i>Noren</i> (doorway curtain), design of the character "Kotobuki (long life)", stencil dyeing on cotton	1974	綿、型染 cotton, stencil dyeing	152.0 × 107.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	喜 <i>Ki</i> (Felicitation)	1960	絹、型染 silk, stencil dyeing	94.5 × 49.3	文化庁管理換 Transferred from ACA
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	木綿地藍染いろは文着物 Kimono, Japanese syllabary design, stencil dyeing on cotton	1961	綿、型染 cotton, stencil dyeing	151.0 × 122.0	文化庁管理換 Transferred from ACA
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	文字文地白麻部屋着 Dressing gown, text motif on undyed ground, hemp	1971	麻、型染 hemp, stencil dyeing	138.0 × 140.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	麻地藍丸紋いろは尽くし六曲屏風 Six-fold screen, design of Japanese syllabary, each graph framed by a circle, stencil dyeing on linen	1963	麻、型染 linen, stencil dyeing	177.0 × 300.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	紬地型絵染二曲屏風 晴雨 Two-fold screen, "Fair and Rainy", stencil dyeing on <i>tsumugi</i> silk	1962	絹、型染 silk, stencil dyeing	52.0 × 174.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	縮緬地型絵染着物 紙漉村 Kimono, "Paper Mills Village", stencil dyeing on crepe silk	1958	絹、型染 silk, stencil dyeing	157.0 × 124.0	文化庁管理換 Transferred from ACA
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	木綿地型絵染壁掛 織機 Wall-hanging, weaving loom design, stencil dyeing on cotton	1954	綿、型染 cotton, stencil dyeing	117.0 × 92.0	購入 Purchased
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	芭蕉布地型絵染柳文夏がけ Bed coverlet for summer, willow design, stencil dyeing on abaca cloth	1960	芭蕉布、型染 abaca cloth, stencil dyeing	167.0 × 110.0	文化庁管理換 Transferred from ACA
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	沖繩三人女 Three Okinawan Women	1939	布、型染 cloth, stencil dyeing	37.9 × 47.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	沖繩壺屋 <i>Tsuboya</i> Potter, Okinawa	1943	紙、型染 paper, stencil dyeing	35.5 × 31.8	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	ばんどり <i>Bandori</i> (backpack supports)	1957	絹、型染 silk, stencil dyeing	178.0 × 250.0	文化庁管理換 Transferred from ACA
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	法然上人絵伝(別刷) 第四十七 頭光路蓮 Illustrated life of <i>Honen Shonin</i> (excerpt), 47: Halo and lotus stand	1941	紙、型染、筆彩 paper, stencil dyeing	36.0 × 46.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢鈺介 Serizawa Keisuke	法然上人絵伝(別刷) 第六 秦氏と別る Illustrated life of <i>Honen Shonin</i> (excerpt), 6: Parting with Hatashi	1941	紙、羽刷、筆彩 paper, stencil, color	33.5 × 47.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige

芹沢銈介 Serizawa Keisuke	新版絵本どんきほうて (別刷) 二 作男さん ちよ従へ廻国の門出 Illustrated <i>Don Quixote</i> , new edition (excerpt): 2, Sallying forth with Sancho Panza	1971	紙、型染 paper, stencil dyeing	28.0 × 36.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	新版絵本どんきほうて (別刷) 三 世に名も 高き初の手合はせ Illustrated <i>Don Quixote</i> , new edition (excerpt): 3, The battle famed throughout the world	1971	紙、型染 paper, stencil dyeing	29.0 × 36.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	新版絵本どんきほうて (別刷) 廿二 恐れを 知らぬどんきほうて Illustrated <i>Don Quixote</i> , new edition (excerpt): 22, The fearless Don Quixote	1971	紙、型染 paper, stencil dyeing	28.5 × 34.5	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	絵本 どんきほうて Illustrated <i>Don Quixote</i>	1937	紙(土佐上質紙)、合羽刷、筆彩 paper, stencil, color	29.1 × 21.0	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	新版 絵本どんきほうて Illustrated <i>Don Quixote</i> , new edition	1975	紙、型染 paper, stencil dyeing	40.5 × 36.3	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
芹沢銈介 Serizawa Keisuke	新版 絵本どんきほうて (縮冊) Illustrated <i>Don Quixote</i> , new edition (condensed version)	1978	紙、凸版、筆彩 paper, reliefprint, color	10.3 × 9.8	金子量重氏寄贈 Gift of Kaneko Kazushige
柚木沙弥郎 Yunoki Samiro	型染紬地団錦壁掛布 Wall-hanging, striped pattern, stencil dyeing	1982	絹、型染 silk, stencil dyeing	186.0 × 142.0	購入 Purchased
四本貴資 Yotsumoto Takashi	絹服地 山々 Dress material, "Mountains", stencil dyeing on silk	1988	絹、型染 silk, stencil dyeing	w87.5 L395.5	購入 Purchased
森義利 Mori Yoshitoshi	「平家物語」より 源平両将 The Opposing Leaders of the Taira and Minamoto clans from <i>The Tale of the Taira Clan</i>	1972	合羽版 stencil	43.0 × 59.0	作者寄贈 Gift of the artist
森義利 Mori Yoshitoshi	「平家物語」より 平家都落ち A Taira Clan Members Fleeing Kyoto A from <i>The Tale of the Taira Clan</i>	1972	合羽版 stencil	42.0 × 58.0	作者寄贈 Gift of the artist
森義利 Mori Yoshitoshi	「平家物語」より 盛者必衰 C All that Prosper Must Decline C from <i>The Tale of the Taira Clan</i>	1973	合羽版 stencil	46.0 × 55.0	作者寄贈 Gift of the artist
森義利 Mori Yoshitoshi	「平家物語」より 盛者必衰 D All that Prosper Must Decline D from <i>The Tale of the Taira Clan</i>	1973	合羽版 stencil	40.0 × 49.0	作者寄贈 Gift of the artist

主要参考文献

『暮しの手帖』第2世紀17号 暮しの手帖社、1972年

『芹沢銈介展』サントリー美術館、1977年

芹沢銈介『芹沢銈介全集』第1巻 中央公論社、1980年

芹沢銈介『芹沢銈介全集』第5巻 中央公論社、1981年

芹沢銈介『芹沢銈介全集』第14巻 中央公論社、1981年

『芹沢銈介の生活デザイン』静岡アートギャラリー、2006年

『芹沢銈介文集』静岡市芹沢銈介美術館、2013年

岡田芳朗『暦の大事典』朝倉書店、2014年

志賀直邦『民藝の歴史』筑摩書房、2016年

『芹沢銈介のいろは——金子量重コレクション』東京国立近代美術館工芸館、2016年

『芹沢銈介の日本——型絵染の「人間国宝」芹沢銈介が見つめた美しき日本の色、かたち、そして「心」をたどる旅(別冊太陽 日本のこころ 293)』平凡社、2021年

『芹沢銈介——その生涯と作品』静岡市芹沢銈介美術館、2022年

MOMATコレクション | 特集展示
芹沢銈介と、新しい日々

2024年1月23日(火)→4月7日(日)
東京国立近代美術館 本館所蔵品ギャラリー〔10室〕

企画
国立工芸館
高橋佑香子(国立工芸館 客員研究員)

編集・執筆
高橋佑香子

翻訳
クリストファー・スティヴンズ

デザイン
廣田萌(文京圖案室)

印刷
大熊整美堂

発行
東京国立近代美術館
〒102-8322
東京都千代田区北の丸公園3-1

©2024 東京国立近代美術館

[MOMAT支援サークル]
株式会社木下グループ
ラグジュアリーカード
株式会社三井住友銀行
三菱商事株式会社
大日本印刷株式会社
アパントグループ
株式会社オオバ
日本電子株式会社

協力
国立アートリサーチセンター

MOMAT Collection | Topic in Focus
New Days with Serizawa Keisuke
January 23 – April 7, 2024
The National Museum of Modern Art, Tokyo,
collection gallery [Room 10]

Curated by:
National Crafts Museum
Takahashi Yukako (Assistant Curator, National Crafts Museum)

Edited and text written by:
Takahashi Yukako

Translated by:
Christopher Stevens

Designed by:
Hirota Moe, Bunkyo-Zuanshitsu Co., Ltd.

Printed by:
Okuma-scibido Co., Ltd.

Published by:
The National Museum of Modern Art, Tokyo
3-1 Kitanomaru-Koen, Chiyoda-ku, Tokyo
103-8322

©2024 The National Museum of Modern Art, Tokyo

[MOMAT Corporate Partnership]
Kinoshita Group Co., Ltd.
LUXURY CARD
Sumitomo Mitsui Banking Corporation
Mitsubishi Corporation
Dai Nippon Printing Co., Ltd. (DNP)
AVANT Group
OHBA & CO.
JEOL Ltd.

Cooperation:
National Center for Art Research



表紙…《1962年のカレンダー(3月)》1961年